

## 刷版へ直接出力するCTP

# 喜勝印刷が中四国初導入

喜勝印刷<sup>®</sup>(西区商工センター七丁目五―八、久保弘睦社長)は、中・四国で初めて、デジタルデータを刷版へ直接出力するCTP(コンピュータ・トゥ・プレート)機を導入し、四月から本格的に稼働させた。

導入したのは、大日本スクリーン製造の「PlateRite e(プレートライト)1080」で、CTP環境を創造する内面円筒走査型のデジタルプレートレコーダー。大きな特徴は、刷版へ直接出力するため、



フィルムなどの中間材料及びその人件費が削減でき、生

産コストの大幅カットを実現できる。場合によっては、印刷経費の三〇%―六〇%と言われている製版工程が全く不要となるため、従来の方法よりも極めて安く、そして迅速に、しかもヨゴレなどが発生する心配もないことから、品質的にも優れたも

のが提供できる。

サーバーには、サン・マイクロシステムズのワークステーションを、端末には十数台のマッキントッシュコンピュータを合わせて導入し、これらのシステムの総投資金額は約一億七千万円。チラシ、パンフレットなどあらゆる印刷物で、そのメリットが十二分に発揮でき、この最新鋭機を武器に、東京営業所をさらに拡充し、積極的な営業展開を図っていく考えだ。

### モリサワが十日市に 出力センターを開設

<sup>®</sup>モリサワは、広島営業所内(中区十日市町一丁目六一―二七)広島印刷会館一階)に、出力センター「デジタルスペース」を開設した。

デジタルプリプレス時代へのサービス強化が主な目的で、DTP関連の出力サービスを中心に、マッキントッシュ・コンピュータのスクールや各種デジタ

ルサービスを提供する。設置機種は、パワーマック9600/233、モリサワPS対応編集機のMK―700、マックとモリサワ編集機のデータ出力が可能なRISASSETTERFなどとなっている。

### アーバンエコロジー

#### Iネット環境を整備

<sup>®</sup>アーバンエコロジー(中区幟町一三―四、房園博行社長)は、サービスの強化と会員増大に伴って、インターネット環境を整備した。

内容は基幹回線(バックボーン)の一部をI-IJに接続、そしてI-IJの広島アクセスポイントまでを高速デジタル回線一・五メガbpsで結んだ。I-IJ(<sup>®</sup>インターネットイニ

シアティブ)は、国内最大の高速バックボーン網を保有するほか、対アメリカや対アジア各国向けにも超高速回線にて国際バックボーン回線を構築、運用を行っている。今回の基幹回線の増強により、インターネットのアクセス環境はさらに充実し、より早く、より快適な環境を提供することが可能。また今後、